

# 三河の昆虫

No. 43

1996年2月

〒444-35  
岡崎市舞木町狐山6-4  
大平仁夫方  
三河昆虫研究会 発行

MIKAWA NO KONTYU

Published by

The Mikawa Insects Association

## 三河地方の走光性ハムシ類

山崎 隆 弘

はじめに

灯火に集まる昆虫類は意外と多くあり、ハムシ類にも走光性のものが少なくない。近年、筆者は三河地方で人工灯を用いて集めるライトトラップ(light trap)法による観察および採集を実施してきた。現時点で得られた知見はまだ多いとは言えないが、ここに三河地方における走光性のハムシ類について報告したいと思う。

この調査で御世話になった大平仁夫博士、採集器具等の便宜を図って頂いた浅岡孝知氏に対し、厚く御礼申し上げる。

### 飛来ハムシ科目録

ネクイハムシ亜科 Donaciinae

#### 1. イネネクイハムシ

*Donacia provostii* Farmaire

日本全土およびシベリアからインドシナなど東南アジアに広く分布するハムシで、イネをはじめとしてヒツジグサやジュンサイなどを食べている。三河地方では盛夏のころ平地の水田や湿地周辺に棲息しており灯火にはよく来ることが知られている。渥美群田原町、豊橋市細谷町で飛来個体を確認した。

クビボソハムシ亜科 Criocerinae

#### 2. トゲアシクビボソハムシ

*Lema coronata* Baly

本州以南から台湾にかけて分布する暖地系のハムシで食草はツユクサである。三河地方では南部

の低地に分布しているがそれほど多くない。一見ルリクビボソハムシに似るが中肢脛節の中央部に突起があるので区別できる。豊橋市細谷町では雨天下での飛来個体を確認した。

#### 3. アカクビボソハムシ

*Lema diversa* Baly

本州・四国・九州から朝鮮半島・中国北部に分布する。ツユクサの葉上によくいるハムシである。灯火にも時々飛来するが多くない。豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

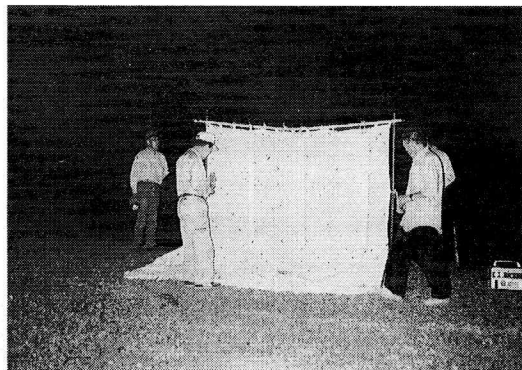


図1 携帯発電機を使用したライトトラップと走光性昆虫類の調査をする研究者ら

#### 4. スゲクビボソハムシ

*Lema dilecta* Baly

北海道・本州・九州に分布する日本固有の小型のハムシでスゲ類につく。愛知県では平野部一帯に分布しているが、三河湾では小磯島からも見いだされている。豊橋市細谷町で飛来個体を確認した。

#### 5. セスジクビボソハムシ

*Oulema atrosuturalis* (Pic)

小型のハムシでエノコログサ、ヒメシバなどを食草とする東洋区系の種である。三河地方では平野部でのスイーピングなどで時々採集されているが局所的である。幡豆郡幡豆町鳥羽、渥美分田原町で飛来個体を確認した。

## ナガツツハムシ亜科 Clytraynae

## 6. キイロナガツツハムシ

*Smaragdina nipponensis* (Chūjō)

本州以南に分布する暖地系のハムシで各種の広葉樹から得られる。三河地方の各地に広く分布するがいずれの場所でも個体数は少ない。岡崎市池金町、豊川市平尾町で飛来個体を確認した。

## ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae

## 7. キアシリツツハムシ

*Cryptocephalus fortunatus* Baly

日本固有のハムシでヤマハギ、クヌギなどから得られる。三河地方では山地を中心に分布しているが低山地にも棲息する。豊田市勘八山、岡崎市池金町で飛来個体を確認した。

## 8. カシワツツハムシ

*Cryptocephalus scitulus* Baly

北海道から九州にかけて分布するハムシでクヌギその他から得られる。三河湾では姫島からも見いだされている。山地に多く棲息するが分布は若干局所的である。北設楽郡稲武町御所貝津で飛来個体を確認した。

## サルハムシ亜科 Eumolpinae

## 9. アオパネサルハムシ

*Basilepta fulvipes* (Motschulsky)

上翅の色彩に変異のあるハムシで青、緑、銅、赤、黄と多彩である。旧北区系の種であるが、三河地方では最も普通である。岡崎市池金町、豊川市平尾町、豊橋市細谷町で飛来個体を確認した。

## 10. ムナゲクロサルハムシ

*Basilepta firticollis* (Baly)

三河地方では低山地一帯に生育するイヌツゲから普通に得られるハムシである。岡崎市池金町で飛来個体を確認した。

## 11. クロオビカサハラハムシ

*Hyperaxis fasciata* (Baly)

本州以南に分布する暖地系のハムシで、三河地方では広葉樹林に普通である。灯火にも時々飛来する。岡崎市池金町、豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

## 12. マダラアラゲサルハムシ

*Demotina fasciculata* Baly

カシ類やチャノキを食草とする。この地方では最も普通のハムシである。渥美郡渥美町和地で飛来個体を確認した。

## 13. アカガネサルハムシ

*Acrothinium gaschkevitchii* (Motschylsky)

アカガネ色の美麗種でノブドウなどから得られる。豊川市千両町で飛来個体を確認した。

## ハムシ亜科 Chrysomelinae

## 14. ヤナギルリハムシ

*Plagioderma versicolora* (Laicharting)

世界分布型のハムシで、各地のヤナギ類に極めて普通である。豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

## ヒゲナガハムシ亜科 Galerucinae

## 15. イチゴハムシ

*Galerucella griseescens* (Joannis)

大陸系のハムシである。食草のギンギンヤタテ類に普通に棲息する。豊田市勘八山、岡崎市池金町で飛来個体を確認した。

## 16. ジュンサイハムシ

*Galerucella nipponensis* (Laboissière)

湿地付近に棲息するハムシで、ジュンサイ、ヒシなどを食草としている。このような環境の周辺で灯火採集を行うとよく飛来する。岡崎市池金町、豊橋市細谷町、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 17. イタヤハムシ

*Pyrrhalta fuscipennis* (Jacoby)

寒地系のハムシであるため三河地方では北設楽地方で分布している。棲息地では灯火によく飛来するが個体数は少ない。北設楽郡稲武町月ヶ平、同郡設楽町裏谷で飛来個体を確認した。

## 18. ミソハギハムシ

*Pyrrhalta calvariensis* (Linnè)

湿地状の草地に棲息する普通のハムシである。

北設楽郡富山村で飛来個体を確認した。

## 19. アカタデハムシ

*Pyrhhalta semifulva* (Jacoby)

春早々サクラから得られるハムシで、三河地方の全域に分布する普通種である。北設楽郡稲武町面ノ木で飛来個体を確認した。

## 20. ウリハムシ

*Aulacophora femoralis* (Motschulsky)

ウリ類の害虫として著名である。三河地方では各地の畑地周辺で普通に見られる。豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

## 21. クロバヒゲナガハムシ

*Taumacera tibialis* (Jacoby)

アマチャヅルにいる。設楽町段戸で飛来個体を確認した。

## 22. キアシヒゲナガアオハムシ

*Clerotilia favomarginata* Jacoby

本州以南に分布するハムシで三河地方では低山地から山間部にかけて棲息する。豊川市平尾町で飛来個体を確認した。

## 23. ケブカクロナガハムシ

*Hesperomorpha hirsuta* (Jacoby)

山地のハンノキ類につくハムシであるが、三河地方ではやや少ない種である。灯火に飛来することもあるが少ない。豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

## 24. ヒゲナガウスバハムシ

*Stenoluperus nipponensis* (Laboissière)

三河地方各地に普通のハムシである。北設楽郡稲武町井山で飛来個体を確認した。

## 25. フタスジヒメハムシ

*Medythia nigrobilineata* (Motschulsky)

小型のハムシで三河地方では低山地や平地の雑草地周辺で灯火採集を行うとよく飛来する。豊田市勘八山、岡崎市池金町、額田郡幸田町坂の坂、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 26. ハラグロヒメハムシ

*Calomicrus cyaneus* (Jacoby)

三河地方各地に普通のハムシである。北設楽郡稲武町面ノ木で飛来個体を確認した。

## 27. キバラヒメハムシ

*Exosoma flaviventre* (Motschulsky)

日中はノリウツギやコナラなどの花上にいるやや普通のハムシである。渥美郡渥美町泉福寺で浅岡孝知氏の記録がある。

## 28. キイロクワハムシ

*Monolepta pallidula* (Baly)

本州以南に分布するハムシでクワ、コナラ、タラノキなどこの地方に多い樹木につく普通種である。晩夏のころ灯火によく飛来してくる。設楽町段戸、同塩津、岡崎市岩中町、岡崎市池金町、額田郡幸田町坂の坂、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 29. ホタルハムシ

*Monolepta dichroa* Harold

平地から山地にかけて最も普通のハムシで、特に草地周辺に多い。北設楽郡富山村、豊田市勘八山、岡崎市池金町で飛来個体を確認した。また、豊橋市大岩町で浅岡孝知氏の記録がある。

ノミハムシ亜科 Alticinae

## 30. カミナリハムシ

*Altica cyanea* (Weber)

東洋区系のハムシである。灯火にも時々飛来をみる。岡崎市池金町、渥美郡田原町芦村で飛来個体を確認した。

## 31. ヒメカミナリハムシ

*Altica caerulescens* (Baly)

本州以南に分布する暖地系のハムシである。食草はエノキグサ、クワクサが知られている。渥美郡美和町和地で飛来個体を確認した。

## 32. ニホンカミナリハムシ

*Altica nipponica* Ohno

本州固有のハムシである。三河地方では山地一帯に分布するが、産地での個体数は少なくない。北設楽郡富山村で飛来個体を確認した。

## 33. アザミカミナリハムシ

*Altica cirsiicola* Ohno

アザミ類にいるハムシで灯火にも時々来る。額田郡幸田町坂の坂、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 34. ヒゲナガアラハダトビハムシ

*Trachyaphthona sordida* (Baly)

三河地方低山地に普通の小型のハムシである。額田郡幸田町坂の坂、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 35. ツブノミハムシ

*Aphthona perminuta* Baly

微小種であるが、三河地方各地に最も普通のハムシである。北設楽郡稲武町御所貝津、豊川市財賀寺で飛来個体を確認した。

## 36. サメハダツブノミハムシ

*Aphthona strigosa* Baly

前種同様の普通種。北設楽郡稲武町面ノ木で飛来個体を確認した。また、豊橋市大岩町で浅岡孝知氏の記録がある。

## 37. クビアカトビハムシ

*Luperomorpha pryeri* (Baly)

本州・九州・四国に分布する小型のハムシでサンショウ類から得られる。豊橋市大岩町で浅岡孝知氏の記録がある。

## 38. ツマキタマノミハムシ

*Sphaeroderma apicale* Baly

広葉樹林上で採集される小型のハムシである。岡崎市岩中町で飛来個体を確認した。

## 39. ヒロアシタマノミハムシ

*Sphaeroderma tarsatum* Baly

三河地方では山地に棲息するハムシで、産地では個体数も多い。北設楽郡稲武町池ノ平で飛来個体を確認した。

## 40. オオキイロノミハムシ

*Asiolestia obscuritarsis* (Motschulsky)

三河地方では山地に棲息している。山地でのライトトラップによく飛来するハムシである。北設楽郡稲武町池ヶ平、同町面ノ木、同町御所貝津、同郡富山村で飛来個体を確認した。

## 41. ヒサゴトビハムシ

*Chaetocnema ingenua* (Baly)

三河地方では山地に棲息しているが、灯火によく飛来するハムシである。北設楽郡稲武町月ヶ平、南設楽郡作手村黒瀬、豊田市勘八山で飛来個体を確認した。

## 42. ヒメドウガネトビハムシ

*Chaetocnema concinnicollis* (Baly)

三河地方低山地でのライトトラップによって時々得られている小型のハムシである。額田郡幸田町坂の坂、渥美郡田原町で飛来個体を確認した。

## 43. ナスナガスネトビハムシ

*Psylliodes angusticollis* Baly

ナスなどの害虫として知られている。豊田市朝八町で飛来個体を確認した。

## 44. ルリマルノミハムシ

*Nonarthra cyanea* Baly

ごく普通のハムシで、三河地方全域に分布している。北設楽郡富山村、岡崎市池金町で飛来個体を確認した。

以上、三河地方から44種の走光性のハムシ類について報告した。最も多かったのがヒゲナガハムシ亜科とノミハムシ亜科でそれぞれ15種。次がサルハムシ亜科の5種。そしてクビボソハムシ亜科の4種、以下はその他の亜科となっている。ハムシ亜科については1種だけであった。トゲハムシ亜科、カメノコハムシ亜科、その他の小亜科については飛来を確かめていない状態であり、今後の課題である。

走光性ハムシ類の調査は普通ライトトラップによって行いが設置場所の選定が問題である。周辺環境によって飛来種が顕著に異なるので、目的に添った調査計画を立てることが望ましい。

この報告では三河地方における一般的な走光性ハムシ類を確認したにとどまり、季節における消長や、各種における飛来お実体については今後委ねることとする。

## 文 献

1. 浅岡孝知 (1991) 渥美半島の昆虫相。伊良湖, 19.
2. 浅岡孝知 (1992) 豊橋市自然史博物館におけるライト・トラップ。虫譜, 30(2): 16-17.
3. 林 匡夫ほか (1984) 原色日本昆虫図鑑Ⅳ。(保育社)
4. 穂積俊文 (1991) 間野隆裕氏が灯火で採集した愛知県弥富町鍋田干拓の甲虫。佳香蝶, 43 (166): 17-22.

5. 穂積俊文 (1992) 間野隆裕氏が灯火採集で得た愛知県美和町の甲虫類. 佳香蝶, 44 (171): 22-28.
6. 山崎隆弘 (1993) 愛知県に産するクビボソハムシ亜科について, 三河の昆虫, (40): 354-360.
7. 山崎隆弘 (1995) 愛知県富山村のハムシ. 三河の昆虫, (42): 393-396.
8. 山崎隆弘・浅岡孝知 (1993) 三河湾島の昆虫. 自刊

## 豊橋市普門寺で採集された甲虫類

蟹 江 昇

豊橋市普門寺の社叢林はシイ, カンなど暖帯林がよく残されており多くの甲虫類が記録されている。筆者は1991年9月に採集調査を行ったが, 甲虫の発生ピークを過ぎた秋期の調査にもかかわらず, 県下では記録の少ない種を含めいくらかの興味深い成果を得ることができたので報告する。

なお調査日はすべて1991年9月27日である。

### 目録

1. ハギキノコゴミムシ  
*Coptodera subapicalis* Putzeys  
1 ex シイの倒木下面より得た。
2. コヨツボシアトキリゴミムシ  
*Dolichoctis striatus* Schmidt-Gobel  
6 ex 前種とともにみられ個体数は多い。
3. フタホシアトキリゴミムシ  
*Lebia bifenestrata* Morawitz  
1 ex。
4. アミモンヒラタケシキスイ  
*Physoronia hilleri* (Reitter)  
2 ex オシロイタケより得た。
5. カタモンオオキノコ  
*Aulacochilis japonicus* Crotch  
1 ex カワラタケ類より得た。
6. カタモンチビオオキノコ  
*Spondotriplax horioi* Nakane et Nobuchi  
10ex 県下では瀬戸市海上町に次ぐ2例目の記録である。オシロイタケより得た。
7. ヒメオビオオキノコ  
*Episcapha fortunei* Crotch  
3 ex 枯れ木樹皮より得た。
8. カタベニケブカテントウダマシ  
*Ectomychus basalis* Gorham  
4 ex 古いそだにみられ, 多い。
9. キイロテントウダマシ  
*Saula japonica* Gorham  
4 ex シイの古い枯れ枝に集まる。
10. ルリテントウダマシ  
*Endomychus gorhami* (Lewis)  
2 ex 広葉樹枯れ枝に普通に見られる。
11. ツヤケシヒメホソカタムシ  
*Microprius opacus* (Sharp)  
1 ex 低地の雑木林に見られるが県下ではあまり記録が見当たらない。
12. フトナガニジゴミムシダマシ  
*Ceropria laticollis* Fairmaire  
1 ex 県下では同市石巻山について2例目の記録となる。
13. ミツノゴミムシダマシ  
*Toxicum tricorutum* Waterhouse  
1 ex 前種とともにキノコの生じた枯れ木から採集した。
14. キマダラヒゲナガゾウムシ  
*Tropideres navulus* Faust  
2 ex。
15. スネアカヒゲナガゾウムシ  
*Autotropis distinguendus* (Sharp)  
4 ex 枯れ枝などに普通に見られる。

## 16. コモンヒメヒゲナガゾウムシ

*Rhaphitropis guttifer* (Sharp)

2 ex 古めの枯れ枝より採集した。

## 幡豆町のカミキリムシ (II)

早河 忍

筆者は先に本誌 (42) に、愛知県幡豆郡幡豆町のカミキリムシについて報告したが、1994年から1995年にかけても採集を行い若干の追加種を記録することができたので報告する。

目録の種の配列、和名及び学名は原則として日本鞘翅学会編 (1984) 「日本産カミキリ大図鑑」によった。

## 目 録

1. キマダラカミキリ  
*Aeolesthes chrysothrix* (Bates)  
鳥羽 4 exs., 25-V-1994; 1 ex.,  
30-V-1994.  
(夜間シイの生木上)
2. コジマヒゲナガコバネカミキリ  
*Molorchus kojimai* (Matsushita)  
西幡豆 1 ex., 17-IV-1994; 12 exs.,  
29-IV-1995.  
(カエデの花上)
3. クスベニカミキリ  
*Pyrestes haematicus* Pascoe  
三ヶ根山 1 ex., 12-VI-1994.  
(クリの花上)
4. ミドリカミキリ  
*Chloridolum viride* (Thomson)  
三ヶ根山 1 ex., 5-VI-1994; 2 exs.,  
28-V-1995; 1 ex., 11-VI-1995.  
(広葉樹の伐採木上)
5. ヒメスギカミキリ  
*Callidiellum rufipenne* (Motschulsky)  
西幡豆 2 exs., 29-IV-1995; 4 exs.,  
7-V-1995.  
(スギ伐採枝の叩網)
6. キスジトラカミキリ  
*Cyrtoclytus caproides* (Bates)  
三ヶ根山 1 ex., 5-VI-1994; 1 ex., 26  
VI-1994.  
(伐採枝上)
7. ホタルカミキリ  
*Dore thoracica* White  
三ヶ根山 11 exs., 22-V-1994.  
(広葉樹の伐採木上)
8. ハイイロヤハズカミキリ  
*Niphona furcata* (Bates)  
西幡豆 2 exs., 10-IV-1994; 10 exs.,  
23-IV-1994.  
(タケの枯枝中より割り出す)
9. シロスジカミキリ  
*Batocera lineolata* Chevrolat  
三ヶ根山 1 ex., 3-V-1994.  
(カシ類の倒木中より割り出す)
10. ヒトオビアラゲカミキリ  
*Rhopaloscelis unifasciatus* Blessig  
三ヶ根山 8 exs., 22-V-1994; 6 exs.,  
5-VI-1994.  
(広葉樹の伐採枝上)
11. イボタサビカミキリ  
*Sophronica obrioides* (Bates)  
三ヶ根山 1 ex., 23-VI-1995.  
(燈火採集)
12. ヨツキボシカミキリ  
*Epiglenea comes* Bates  
三ヶ根山 1 ex., 26-VI-1994.  
(飛翔中)
13. リンゴカミキリ

*Oberea japonica* (Thunberg)

三ヶ根山 1 ex., 11-VI-1995.

(サクラの葉裏)

本報ではカミキリムシ科13種を記録した。これで前報とあわせて53種となった。この他にも分布の予想される種が数多くあると思われるので、今後とも採集を継続したい。

## 参考文献

穂積俊文(1993)「愛知県の昆虫・甲虫目」の追加記録(3) - 1992年度のまとめ -。佳香蝶。45(175): 43-47。

湯沢宣久・蟹江 昇・河路掛吾・竹内克豊(1990)愛知県のカミキリムシ科。愛知県の昆虫(上): 389-433。

## 新 城 市 の 半 翅 類

浅 岡 孝 知

新城市は、東三河の平野部と山間部との中間に位置し、年平均気温約15度C、年間降水量約2,000mmであり、市の中央には豊川(寒狭川)が流れている。北側には標高620mの雁峰山などの山々、南側には標高400m前後の弓張山脈の山々に囲まれている。降水量は豊川の奥に行くに従って多くなるようである。

新城市の半翅類(カメムシ類)については、これまで浅岡(1986)船着山の半翅類で31科72種が報告されている。その他にはまとめられたことがなかった。筆者は1992年~1993年にかけて新城市の南部山間部の2地点で調査する機会を得たので、過去の記録と併せてまとめることにする。

調査地域は下記の通りであり、目録の配列・学名等は日本産昆虫総目録(1989)に従っている。



## 目 録

## ヒシウンカ科 Cixiidae

1. ヤナギカワウンカ  
*Andes marmoratus* (Uhler, 1986)  
1-VIII-1993, 5 exs. 吉川.
2. ハスオビヒシウンカ  
*Betacixius obliquus* Matsumura, 1914  
船着山(1986)で記録がある。
3. キガシラヒシウンカ  
*Kuvera flaviceps* (Matsumura, 1900)  
7-VI-1993, 1 ex. 吉川.
4. ヨスジヒシウンカ  
*Reptalus quadricinctus* Matsumura, 1914  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田.

## ウンカ科 Delphacidae

1. エゾナガウンカ  
*Stenocranus matsumurai* Metcalf, 1943  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田.
2. ヒメトビウンカ  
*Laodelphax stratella* (Fallen, 1826)  
18-VIII-1993, 2 exs. 黒田.
3. セジロウンカ  
*Sogatella furcifera* (Horvath, 1899)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川. 船着山(1986)で記録がある。

## ハネナガウンカ科 Derbidae

1. アカハネナガウンカ  
*Diostrombus politus* Uhler, 1986  
18-VIII-1993, 2 exs. 黒田.
2. アヤヘリハネナガウンカ  
*Nomuraida hibarensis* Matsumura, 1935  
船着山 (1986) で記録がある。
3. ウスベニハネビロウンカ  
*Rhotana kagoshimana* Matsumura, 1914  
14-IX-1993, 2 exs. 吉川.
4. キスジハネビロウンカ  
*Rhotana satsumana* Matsumura, 1914  
24-IX-1993, 2 exs. 黒田.
5. アカメガシワハネビロウンカ  
*Vekunta malloti* Matsumura, 1914  
11-IX-1993, 2 exs. 吉川, 24-IX-1993,  
5 exs. 黒田.  
船着山 (1986) で記録がある。
- コガシラウンカ科 Achilidae
1. シマコガシラウンカ  
*Usana yanosis* Matsumura, 1914  
18-VIII-1993, 2 exs. 黒田.
- グンバイウンカ科 Tropiduchidae
1. タテスジグンバイウンカ  
*Catullia vittata* Matsumura, 1914  
11-VIII-1993, 2 exs. 黒田, 船着山 (1986)  
で記録がある。
2. ヒラタグンバイウンカ  
*Ossoides lineatus* Bierman, 1910  
18-VIII-1993, 2 exs. 黒田, 船着山 (1986)  
で記録がある。
- マルウンカ科 Issidae
1. マルウンカ  
*Gergithus variabilis* (Butler, 1875)  
船着山 (1986) で記録がある。
- アオバハゴロモ科 Flatidae
1. アオバハゴロモ  
*Geisha distinctissima* (Walker, 1858)  
18-VIII-1993, 1 ex. 吉川, 18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田, 船着山 (1986) で記録がある。
2. トビイロハゴロモ  
*Mimophantia maritima* Matsumura, 1900  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田, 船着山 (1986)  
で記録がある。
- ハゴロモ科 Ricaniidae
1. ベツコウスゴロモ  
*Orosanga japonicus* (Melichar, 1989)  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田, 船着山 (1986)  
で記録がある。
2. アミガサハゴロモ  
*Pochazia albomaculata* (Uhler, 1896)  
11-IX-1993, 1 ex. 吉川, 18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田.
- セミ科 Cicadidae
1. クマゼミ  
*Cryptotympana facialis* (Walker, 1858)  
18-VIII-1993, 鳴き声. 吉川.
2. アブラゼミ  
*Graptopsaltria nigrofuscata* (Motschulsky, 1866)  
18-VIII-1993, 鳴き声. 吉川, 18-VIII-1993,  
♀. 黒田, 船着山 (1986) で記録がある。
3. ツクツクボウシ  
*Meimuna opalifera* (Walker, 1850)  
14-IX-1993, 2 ♀. 黒田.
4. ミンミンゼミ  
*Oncotympana maculaticollis* (Motschulsky,  
1866)  
18-VIII-1993, 鳴き声. 吉川, 船着山 (1986)  
で記録がある。
5. ニイニイゼミ  
*Platypleura kaempferi* (Fabricius, 1794)  
1-VIII-1993, 1 ♀. 吉川, 18-VIII-1993,  
1 ♀. 黒田, 船着山 (1986) で記録がある。
6. ヒグラシ  
*Tana japonensis japonensis* (Distant, 1892)  
18-VIII-1993, 1 ♀. 吉川.



## コガシラアワフキ科 Cercopidae

1. コガシラアワフキ  
*Eoscartopis assimilis* (Uhler, 1896)  
1-VIII-1993, 2 exs. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

## アワフキムシ科 Aphrophoridae

1. マエキアワフキ  
*Aphrophora costalis* Matsumura, 1903  
船着山 (1986) で記録がある。
2. シロオビアワフキ  
*Aphrophora intermedia* Uhler, 1896  
10-X-1993, 1 ex. 吉川、黒田。
3. ホシアワフキ  
*Aphrophora stictica* Matsumura, 1903  
14-IX-1993, 7 exs. 黒田、船着山 (1986)  
で記録がある。
4. マダラアワフキ  
*Awafukia nawae* (Matsumura, 1904)  
14-IX-1993, 1 ex. 吉川。
5. ヒモモンキアワフキ  
*Tabiphora rugosa* (Matsumura, 1903)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
2 exs. 黒田。

## ツノゼミ科 Membracidae

1. トビイロツノゼミ  
*Machaerotypus sibiricus* (Lethierry, 1876)  
26-III-1993, 2 exs. 吉川、30-III-1994,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

## ミミズク科 Ledridae

1. ミミズク  
*Ledra auditura* Walker, 1858  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。
2. コミミズク  
*Ledropsis discolor* (Uhler, 1896)  
17-IV-1993, 1 ex. 吉川、23-IX-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

## ヒロズヨコバイ科 Macropsidae

1. フタオビハトムネヨコバイ  
*Macropsis matsumurana* China, 1925  
23-XI-1993, 2 exs. 黒田。

## シダヨコバイ科 Agalliidae

1. シダヨコバイ  
*Japanagallia pteridis* (Matsumura, 1905)  
17-IV-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。
2. オヌキシダヨコバイ  
*Onukigallia onukii* (Matsumura, 1905)  
1-VIII-1993, 3 exs. 吉川。

## アオズキンヨコバイ科 Iassidae

1. ヒメアオズキンヨコバイ  
*Batracomorphus diminutus* (Matsumura,  
1912)  
1-VIII-1993, 2 exs. 吉川、11-X-1993,  
3 exs. 黒田。
2. アオズキンヨコバイ  
*Batracomorphus mundus* (Matsumura, 1912)  
24-IX-1993, 2 exs. 黒田、船着山 (1986)  
で記録がある。

## クロヒラタヨコバイ科 Penthimidae

1. クロヒラタヨコバイ  
*Penthimia nitida* Lethierry, 1876  
11-VII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

## ブチマクヨコバイ科 Drabescidae

1. ブチマクヨコバイ  
*Drabescus nigrifemoratus* (Matsumura, 1905)  
18-VII-1993, 1 ex. 黒田。

## ホソサジヨコバイ科 Nirvanidae

1. ホソサジヨコバイ  
*Nirvana pallida* Melichar, 1903  
14-IX-1993, 2 exs. 吉川。

## オオヨコバイ科 Cicadellidae

1. ツマグロオオヨコバイ  
*Bothrogonia ferruginea* (Fabricius, 1787)  
17-IV-1993, 1 ex. 吉川、23-XI-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。
2. オオヨコバイ  
*Cicadella viridis* (Linnaeus, 1758)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。
3. マエジロオオヨコバイ  
*Kolla atramentaria* (Motschulsky, 1859)  
10-X-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

## ヒメヨコバイ科 Typhlocybidae

1. オビヒメヨコバイ  
*Naratettix zonatus* (Matsumura, 1915)  
23-XI-1993, 1 ex. 黒田。
2. カンキツヒメヨコバイ  
*Apheliona ferruginea* (Matsumura, 1931)  
20-II-1993, 1 ex. 吉川。
3. シロヒメヨコバイ  
*Eurhadina pulchella* (Fallen, 1806)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、23-XI-1993,  
1 ex. 黒田。

## ヨコバイ科 Deltocephalidae

1. ヒシモンヨコバイ  
*Hishimonus sellatus* (Uhler, 1896)  
吉川、11-X-1993, 1 ex. 黒田。
2. トバヨコバイ  
*Alobaldia tobae* (Matsumura, 1902)  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田。
3. イネマダラヨコバイ  
*Recilia oryzae* (Matsumura, 1902)  
1-VIII-1993, 2 exs. 吉川、18-VIII-1993,  
2 exs. 黒田。
4. ヒトツメヨコバイ  
*Phlogotettix cyclops* (Mulsant et Rey, 1855)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
3 exs. 黒田。

## 5. トガリヨコバイ

*Doratulina producta* (Matsumura, 1902)  
10-X-1993, 1 ex. 吉川。

## 6. ツマグロヨコバイ

*Nephotettix cincticeps* (Uhler, 1896)  
1-VIII-1993, 1 ♀. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ♂. 1 ♀. 黒田。  
船着山 (1986) で記録がある。

## 7. モジヨコバイ

*Amimenus mojiensis* (Matsumura, 1914)  
11-VII-1993, 1 ex. 黒田。

## 8. コチャイロヨコバイ

*Matsumurella kogotensis* (Matsumura, 1914)  
15-V-1993, 1 ex. 吉川。

## 9. リンゴマダラヨコバイ

*Orientus ishidae* (Matsumura, 1902)  
1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、23-XI-1993,  
1 ex. 黒田。

## 10. シロミヤクイチモンジヨコバイ

*Paramesodes albinervosus* (Matsumura,  
1902)  
18-VIII-1993, 1 ex. 黒田。

## 11. シロホシスカンヨコバイ

*Scaphoideus festivus* Matsumura, 1902  
14-IX-1993, 4 exs. 吉川。

## キジラミ科 Psyllidae

## 1. クワキジラミ

*Anomoneura mori* Schwarz, 1896  
14-IX-1993, 2 exs. 吉川。

## アメンボ科 Gerridae

## 1. アメンボ

*Gerris paludum paludum* (Fabricius, 1794)  
船着山 (1986) で記録がある。

## 2. ヒメアメンボ

*Gerris latiabdominis* Miyamoto, 1958  
11-VII-1993, 1 ex. 黒田。

## コオイムシ科 Belostomatidae

## 1. タガメ

*Lethocerus deyrollei* (Vuillefroy, 1864)

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
1 ex. 黒田。

重要種であるが新城市から豊川市にかけて  
広く分布していて、特に新城市周辺では個体数  
が多いようである。

## タイコウチ科 Nepidae

## 1. ミズカマキリ

*Ranatra chinensis* Mayer, 1865

18-VIII-1993, 1 ex. 黒田。

## ミズムシ科 Corixidae

## 1. コミズムシ

*Sigara substriata* Uhler, 1896

1-VIII-1993, 3 exs. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田。

## マツモムシ科 Notonectidae

## 1. コマツモムシ

*Anisops ogasawarensis* Matsumura, 1915

18-VIII-1993, 1 ex. 黒田。

## メクラカメムシ科 Miridae

## 1. ズアカンダメクラガメ

*Monalocoris filicus* (Linnaeus, 1758)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川。

## 2. ウスモンメクラガメ

*Adelphocoris demissus* Horvath, 1905

24-IX-1993, 1 ex. 黒田。

## 3. ヒメセダカメクラガメ

*Charagochilus gyllenhalii* (Fallen, 1807)

23-XI-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986)  
で記録がある。

## 4. フタモンアカメクラガメ

*Lygocoris hilaris* (Horvath, 1905)

船着山 (1986) で記録がある。

## 5. メンガタメクラガメ

*Eurystylus coelestialium* (Kirkaldy, 1902)

7-VI-1993, 1 ex. 吉川。

## 6. ハギメンガタメクラガメの1種

*Eurystylus* sp.

24-IX-1993, 4 exs. 黒田。

## 7. アカアシメクラガメ

*Onomaus lautus* (Uhler, 1896)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川。

## 8. クロマルメクラガメ

*Orthocephalus funestus* Jakovlev, 1881

7-VI-1993, 1 ex. 吉川。

## マキバサシガメ科 Nabidae

## 1. アカマキバサシガメ

*Gorpis brevilineatus* (Scott, 1874)

船着山 (1986) で記録がある。

## 2. コバネマキバサシガメ

*Nabis apicalis* (Matsumura, 1913)

船着山 (1986) で記録がある。

## 3. ハネナガマキバサシガメ

*Nabis stenoferus* Hsiao, 1964

24-IX-1993, 2 exs. 黒田。

## ハナカメムシ科 Anthocoridae

## 1. ヤサハナカメムシ

*Amphiareus obscuriceps* (Poppius, 1909)

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川。

## ゲンバウムシ科 Tingidae

## 1. キクグンバイ

*Galeatus spinifrons* (Fallen, 1807)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川。

## 2. ツツグンバイ

*Stephanitis pyrioides* (Scott, 1874)

7-VI-1993, 1 ex. 吉川。

## 3. トサカグンバイ

*Stephanitis takeyai* Dake et Maa, 1953

7-VI-1993, 1 ex. 吉川。

## 4. ヒメグンバイ

*Uhlerites debilis* (Uhler, 1896)

船着山 (1986) で記録がある。

## サシガメ科 Reduviidae

## 1. ヒゲナガサシガメ

*Endochus stalianus* Horvath, 1879

船着山 (1986) で記録がある。

2. シマサシガメ

*Spheganolestes impressicollis* (Stal, 1861)

11-X-1993, 1 ex. 黒田.

3. クロモンサシガメ

*Peirates turpis* Walker, 1873

19-II-1994, 1 ex. 黒田.

4. ユミアシサシガメの1種

*Polytoxus* sp.

24-IX-1993, 1 ex. 黒田.

ヒラタカメムシ科 Aradidae

1. ノコギリヒラタカメムシ

*Aradus orientalis* Bergroth, 1885

船着山 (1986) で記録がある。

2. イボヒラタカメムシ

*Usimgerida verrucigera* (Bergroth, 1892)

船着山 (1986) で記録がある。

イトカメムシ科 Lygaeidae

1. イトカメムシ

*Yemma exilis* Horvath, 1905

船着山 (1986) で記録がある。

ナガカメムシ科 Lygaeidae

1. セスジナガカメムシ

*Arocatus melanostoma* Scott, 1874

船着山 (1986) で記録がある。

2. アカヘリナガカメムシ

*Arocatus sericans* (Stal, 1859)

船着山 (1986) で記録がある。

3. ヒメナガカメムシ

*Nysius plebejus* Distant, 1883

11-IX-1993, 2 exs. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

4. ムラサキナガカメムシ

*Pylorgus colon* (Thunberg, 1784)

20-II-1993, 1 ex. 吉川、30-III-1994, 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

5. ホソメダカナガカメムシ

*Ninomimus flavipes* (Matsumura, 1913)

24-IX-1993, 1 ex. 黒田.

6. オオメカメムシ

*Piocoris varius* (Uhler, 1860)

10-X-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

7. ヒゲナガカメムシ

*Pachygrontha antennata* (Uhler, 1860)

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986) で記録がある。

8. ヒョウタンナガカメムシ

*Caridops albomarginatus* (Scott, 1874)

船着山 (1986) で記録がある。

9. ヨツボシヒョウタンナガカメムシ

*Eucosmetus pallicornis* (Dallas, 1852)

24-IX-1993, 3 exs. 黒田.

10. オオチャイロナガカメムシ

*Lethaeus assamensis* (Distant, 1901)

18-VIII-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

11. チャイロナガカメムシ

*Neolethaeus dallasi* (Scott, 1874)

10-X-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

12. サビヒョウタンナガカメムシ

*Pamerana rustica* (Scott, 1874)

船着山 (1986) で記録がある。

13. キベリヒョウタンナガカメムシ

*Paraparomius lateralis* (Scott, 1874)

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川.

14. クロアシホソナガカメムシ

*Paromius exiguus* (Distant, 1883)

24-IX-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

15. コバネヒョウタンナガカメムシ

*Togo hemipterus* (Scott, 1874)

船着山 (1986) で記録がある。

メダカナガカメムシ科 Malcidae

1. メダカナガカメムシ

*Chauliops fallax* Scott, 1874

18-VIII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

#### ホシカメムシ科 Pyrrhocoridae

##### 1. フタモンホシカメムシ

*Pyrrhocoris sibiricus* Kuschakewitsch,  
1867

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田。

#### オオホシカメムシ科 Largidae

##### 1. ヒメホシカメムシ

*Physopelta cimcticollis* Stal, 1863

11-VII-1993, 1 ex. 吉川、24-IX-1993,  
2 exs. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

##### 2. オオホシカメムシ

*Physopelta gutta* (Burmeister, 1834)

1-VII-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

#### ホソヘリカメムシ科 Alydidae

##### 1. クモヘリカメムシ

*Leptocoris chinensis* (Dallas, 1852)

船着山 (1986) で記録がある。

##### 2. ヒメクモヘリカメムシ

*Paraplesius unicolor* (Thunberg, 1783)

船着山 (1986) で記録がある。

##### 3. ホソヘリカメムシ

*Riptortus clavatus* (Thunberg, 1783)

24-IX-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986)  
で記録がある。

#### ヘリカメムシ科 Coreidae

##### 1. オオヘリカメムシ

*Molipteryx fuliginosa* (Uhler, 1860)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

##### 2. オオクモヘリカメムシ

*Anacanthocoris stricornis* (Scott, 1874)

船着山 (1986) で記録がある。

##### 3. ホソハリカメムシ

*Cletus punctiger* (Dallas, 1852)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

##### 4. ハリカメムシ

*Cletus rusticus* Stal, 1859

10-X-1993, 1 ex. 吉川、11-X-1993,  
2 exs. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

##### 5. ハラビロヘリカメムシ

*Homoeocerus dilatatus* Horvath, 1879

11-X-1993, 1 ex. 黒田。

##### 6. ホシハラビロヘリカメムシ

*Homoeocerus unipunctatus* (Thunberg,  
1783)

7-VI-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

##### 7. オオツマキヘリカメムシ

*Hygia lativentris* (Motschulsky, 1866)

船着山 (1986) で記録がある。

##### 8. ツマキヘリカメムシ

*Hygia opaca* (Uhler, 1860)

11-VII-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
で記録がある。

##### 9. キバラヘリカメムシ

*Plinachtus bicoloripes* Scott, 1874

23-XI-1993, 1 ex. 黒田。

#### ヒメヘリカメムシ科 Rhopalidae

##### 1. スカシヒメヘリカメムシ

*Liorhyssus hyalinus* (Fabricius, 1794)

18-VIII-1993, 1 ex. 黒田。

##### 2. マルカメムシ

*Magacopta punctatissima* (Montandon,  
1894)

船着山 (1986) で記録がある。

#### ツチカメムシ科 Cydnidae

##### 1. ヒメツチカメムシ

*Geotomus pygmaeus* (Dallas, 1851)

1-VIII-1993, 1 ex. 吉川、18-VIII-1993,  
1 ex. 黒田。

##### 2. ツチカメムシ

*Macroscytus japonensis* (Scott, 1874)  
 1-Ⅷ-1993, 2 exs. 吉川、18-Ⅷ-1993,  
 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

カメムシ科 Pentatomidae

1. ヒメクロカメムシ  
*Scotinophara scotti* Horvath, 1879  
 7-VI-1993, 1 ex. 吉川.
2. ウシカメムシ  
*Alcimocoris japonensis* (Scott, 1880)  
 船着山 (1986) で記録がある。
3. ムラサキシラホシカメムシ  
*Eysarcoris annamita* Breddin, 1913  
 10-X-1993, 1 ex. 吉川、船着山 (1986)  
 で記録がある。
4. シラホシカメムシ  
*Eysarcoris ventralis* (Westwood, 1837)  
 18-Ⅷ-1993, 1 ex. 黒田.
5. ツヤアオカメムシ  
*Glaucias subpunctatus* Walker, 1867  
 24-IX-1993, 2 exs. 黒田.
6. クサギカメムシ  
*Halyomorpha picus* (Fabricius, 1794)  
 11-X-1993, 1 ex. 黒田、船着山 (1986)  
 で記録がある。
7. チャバネアオカメムシ  
*Plautia crossota atali* Scott, 1874  
 11-VII-1993, 1 ex. 吉川、18-Ⅷ-1993,  
 1 ex. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

エビイロカメムシ科 Acanthomatidae

1. エビイロカメムシ  
*Gonopsis affinis* (Uhler, 1860)  
 10-X-1993, 1 ex. 吉川、18-Ⅷ-1993,  
 1 ex. 黒田.

ツノカメムシ科 Acanthomatidae

1. アオモンツノカメムシ  
*Dichobothrium nubilum* (Dallas, 1851)  
 14-IX-1993, 1 ex. 吉川、18-Ⅷ-1993,  
 2 exs. 黒田、船着山 (1986) で記録がある。

2. エサキモンキツノカメムシ  
*Sastragala esakii* Hasegawa, 1959  
 船着山 (1986) で記録がある。

3. モンキツノカメムシ  
*Sastragala scutellata* (Scott, 1874)  
 船着山 (1986) で記録がある。

表1 半翅類の種類数

科名	種類数	科名	種類数
ヒシウカ	4	タイコウチ	1
ウシカ	3	ミズムシ	1
ハナガウシカ	5	アツモシ	1
コガシラウシカ	1	メクラカメムシ	8
ゲンバウシカ	2	マキバサシガメ	3
マルウシカ	1	ハナカメムシ	1
アオバハゴロモ	2	クソバムシ	4
ハゴロモ	2	サシガメ	4
セミ	6	ヒラカメムシ	2
コガシラアワフキ	1	イトカメムシ	1
アワフキムシ	5	ナガカメムシ	15
ツノゼミ	1	メダナガカメムシ	1
ミミズク	2	ホシカメムシ	1
ヒロスヨコバイ	1	オオホシカメムシ	2
シダヨコバイ	2	ホソハリカメムシ	3
アオスキノコバイ	2	ハリカメムシ	9
クロヒラタヨコバイ	1	ヒメハリカメムシ	1
フチミヤクヨコバイ	1	マルカメムシ	2
ホソサヨコバイ	1	ウチカメムシ	2
オオヨコバイ	3	カメムシ	7
ヒメヨコバイ	3	エビイロカメムシ	1
ヨコバイ	11	ツノカメムシ	3
キジラミ	1		
アメンボ	2		
コオイムシ	1	47科	137種

以上、新城市の半翅類は47科137種を確認することができた。これによって、新城市の大要が明らかになってきた。これは隣の作手村の種類数とほぼ同じである。特に当地だけに生息するような種類は見いだされていない。主に暖地系の種が多く見られるようである。また、豊川流域の半翅類は既報告の作手村、鳳来町、設楽町、稲武町、豊根村、富山村などを加えてかなり明らかになってきている。そして、今後豊川市史(1996年発刊予定)、豊橋市の自然(1998年発刊予定)などにより、豊川流域の上流から下流までの生息状況がより鮮明になるものと思われる。

参考文献

浅岡孝知(1986)船着山の半翅目・三河の昆虫、

No.33 ; 210-213.

新城市誌編集委員会 (1987) 新城市誌 708-753.

三河地方のコメツキムシ雑記(6)<sup>1)</sup>

大平仁夫

## 三河地方に分布するキマダラ

## コメツキ類について

日本にキマダラコメツキ属(*Gamepenthis* 属)の種は5種知られているが、そのうちの4種が三河地方から記録されている。いずれも本州、四国、九州に広く分布している種であるが、三河地方のような深い山岳地帯を有さない地域で、屋内のほぼすべての種が見出されることは大変幸運なことである。

成虫は山林に咲くノリウツギの花などで得られることが多いが、まれに燈火にも飛来することがある。幼虫は円筒状をした針金虫型で、朽木中に生息するものと思われるが、まだ実態はよく判明していない。

1) *Gamepenthis versipellis* (Lewis, 1894)

## メスアカキマダラコメツキ (第1図)

日本に分布するこの属の種のうちでは最も個体数が多く、雌は前胸背板が赤褐色をしている美麗種であるし、今までに多くの図説があるので、一般にも比較的よく知られている。分布は広く、北海道から九州の各地に産することが判明している。しかし、周辺の島嶼(佐渡島や伊豆諸島など)からの記録はなく、屋久島からも知られていない。

三河地方では主として北設楽山岳地帯に分布しており、段戸裏谷や茶白山などが主な産地である。しかし、1例だけであるが大平(1984)は松野更一氏が豊橋市嵩山町で採集(29-IV, 1978)された1雌個体を記録している。これはその奥にある本宮山、南設楽地方からの記録が全くないので、嵩山町での記録は今後の詳しい調査が必要と思われる。

三河地方から本種を最初に記録したのは穂積

(1968)で、*Melanoxanthus* 属の種として段戸裏谷から記録「山地性であって7・8月にノリウツギ花上に多いが雄は少ない」とされている。花上で見出される個体に雄が少ないのは、雌雄で生態が異なるためではないかと思われるが、まだよくわかっていない。

体長8mm内外、体は黒色で雌の前胸背板と前胸腹側板は赤褐色、上翅の斑紋は黄色、触角は黒色で肢は黄褐色である。雌雄の識別は前胸背板の色ですぐわかるが、雄の触角は長く、第2節と第3節は短小で第4節から鋭く鋸歯状(第1図, D)をしているのに比して、雌では鋸歯状が弱い(第1図, E)。前胸腹板突起は後方へ真直ぐに伸長する(第1図, F)。上翅の間室部は鮫肌状をしていて、毛の生じている基部を拡大すると図示(第1図, G)のようになる。また、翅端部は弱い切断状で、末端は多少とも鋸歯状をしている(第1図, H)。雄交尾器の側突起の末端部の形は図示(第1図, C)したようである。

本種の雌雄の識別は前胸背板の色彩で容易にできるし、雄では上翅の黄斑は著しく小形になり、ときに殆んど消失することがある。幼虫や詳しい生態などは今後の調査が必要である。三河地方で今までに知られている主な産地は、茶白山、豊根村三沢、稲武町面ノ木峠、段戸裏谷、豊橋市嵩山町などである。

2) *Gamepenthis ornatus* (Lewis, 1894)

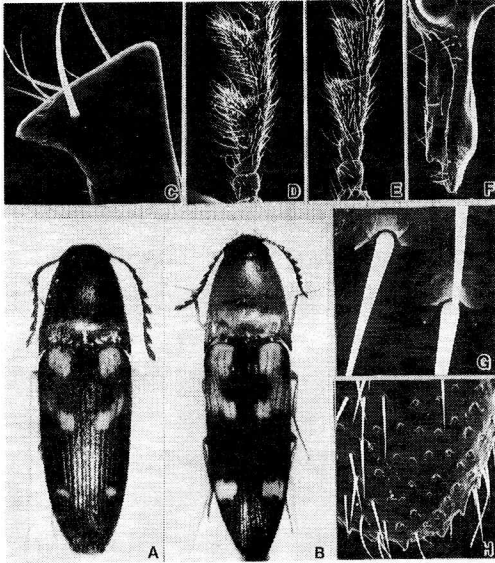
## コキマダラコメツキ (第2図: C, D)

本種は古くは前種(メスアカキマダラコメツキ)の変種とされたり、前種の雄個体と混同されたりしていたが、今では独立種として扱われている。外見上で前種と異なるのはやや小形であるのと、雌雄とも前胸背板が黒色を呈することである。本

1) (5).三河の昆虫(41): 380-382, 1994.



種は北海道には分布しないが、本州、四国、九州の各地に広く分布している。また、周辺の島嶼から知られていないのは前種と同様である。成虫の発生期も前種によく似ており、ノリウツギの花上では前種に混って見出されることが多いが、一般に個体数は前種より少ないようである。



第1図

メソアカキマダラコメツキ

A, 雄; B, 雌; C, 雄交尾器の左側片の末端部; D, 雄触角の基部節(第2~5節); E, 雌触角の基部節(第2~5節); F, 前胸腹板突起の側面; G, 上翅の間室の毛の基部(×1400); H, 翅端部。

三河地方では北設楽山岳地帯に分布していて、この地域から最初に記録したのは大平・浅岡(1976)による段戸裏谷からである。また、そのあと穂積(1977)は同じ段戸裏谷から記録(13-VIII, 1954)され、「以後10回以上段戸を訪れているが、20数年前に1exを得たのみで稀と思われる」とされている。今までに、この地域で知られている産地は津具村(下津具)(クリの花)、豊根村(大幹線林道)、段戸裏谷くらいで、茶臼山からは未知である。

体長は6mm内外、体は黒色で上翅の斑紋は黄色(第2図, C)、触角は暗褐色(基部3節は黄褐色)、肢は黄褐色である。翅端部は弱く切断状でやや鋸歯状をしている(第2図, D)。雌雄の色彩の差は前種ほど顕著ではなく、雄の上翅の黄斑(図は雌)は雌より縮少の傾向にあるが、雌と

殆ど差のない個体もあるので、雌雄の識別は触角の長さ、第2, 3節の形、第4節からの鋸歯状の差による方がわかりやすい。

筆者の所有の標本の中に、段戸裏谷産の個体はかなりあるので、往時にはこのあたりの花上で比較的容易に見出されたものと思われるが、現在ではきわめて稀な存在になっている。

### 3) *Gamepenthès pictipennis* (Lewis, 1894)

キマダコメツキ(第2図: A, B)

本種は本州、四国、九州(北九州のみ)に広く分布が知られている種で、前2種と同様に周辺の島嶼からの記録は存在しない。ただ、北海道から一度だけ記録されている。成虫はノリウツギやリュウブなどの花上で見出されることが多いが、前2種に比して個体数は少なく、一度に多くの個体を見出すことは殆どないと思われる。

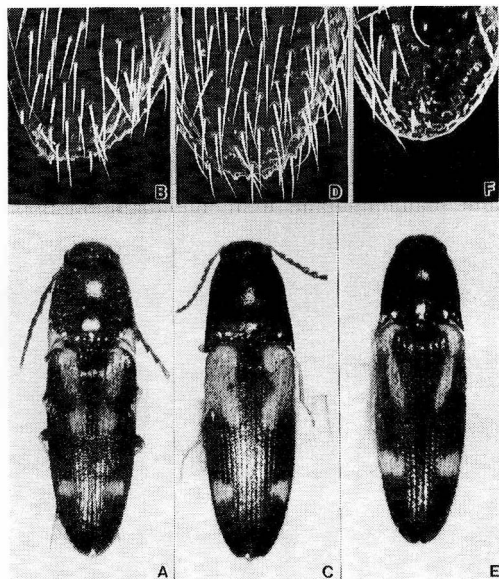
三河地方での記録はわずかで、最初にこの地域から本種を記録したのは神谷(1955)で、段戸裏谷からである。この標本はのち大平(1973)に紹介されていて、1952年6月19日に得られた雌個体であることが判明している。ここに図示したのは、伴憲隆氏が1976年7月3日に段戸裏谷で得られた雄個体である。現在までに知られている産地は、上記の段戸裏谷と面ノ木峠の2個所で、今までにこの地方で見出された個体も数頭ほどと思われるし、雄個体はこれ以外にまだ採集されていないと思われる。

体長は7mm内外、体は黒色で前胸背板の後角部は黄色を呈することが特徴的である(第2図, A)。上翅の斑紋は黄色(ややだいたい色)、触角は黒褐色(基部3節は黄褐色)、肢は暗褐色である。翅端部は弱い切断状であるが、鋸歯状の小突起は顕著ではなく(第2図, B)。雄は一般に雌より小形で、体長は5mm内外、上翅の黄斑はときに著しく小形である。触覚は細長く、第2, 3節は短小で球形状、第4節より顕著に鋸歯状をしているが、この部分の雌雄の差は、前2種ほど明らかではない。

本種は、三河地方に産するコメツキムシ類の中では、最も美しい斑紋を有する種であると思われ



る。一度採集したら忘れられない印象に残る種である。



第2図  
A, キマダラコメツキの雄; B, 同上, 翅端部;  
C, コキマダラコメツキの雌; D, 同上, 翅端部;  
E, ヒメキマダラコメツキの雌; F, 同上, 翅端部。

4) *Gamepenthès similis* (Lewis, 1894)

ヒメキマダラコメツキ (第2図: E, F)

本種も本州, 四国, 九州の各地に広く分布が知られているが, 個体数は前記の3種に比して最も少ないように思われる。また, 周辺の島嶼から記録が少ないのは前種と同じである。成虫はノリウツギの花などに飛来するようであるが, 大塚(1981)は熊本県で灯火に飛来したのを記録されている。

三河地方では段戸裏谷が唯一の産地で, 最初に神谷(1955)は段戸裏谷からから記録している。この個体はのち大平(1973)によって1952年6月19日に採集された雌個体であることが確められている。

ここに図示(第2図, E)したのは, 筆者が1970年8月3日にやはり段戸裏谷で採集した雌個

体である。他に採集されている方がおられるかもわからないが, 筆者が知る範囲では今までに得られている個体は2~3頭くらいで, それもすべて雌個体と思われる。

体長は3.5~4 mm内外で黒色, 触角は黒褐色で基部3節はやや黄褐色, 肢は黄色, 上翅の斑紋は黄色である。雄はやや小形で, 触角はより細長い他, 上翅の斑紋による変異は一般に殆どみられない。

今後, 奥三河山岳地帯での本種の分布について, さらに詳しく調査したいと思っている。本種を所持されている方は, 分布地を記録に残して下さるようお願いしたい。

引用文献

穂積俊文(1968)東海甲虫誌(第15報). 佳香蝶, 20(74): 35~47.  
——(1977)東海甲虫誌(第21報). 佳香蝶, 29(112): 45~59.  
神谷一男(1955)奥三河の昆虫相. 北設山岳及鳳来寺山県立公園一帯の自然科学(調査報告書): 33~70.  
大平仁夫(1973)1950年頃の段戸山のコメツキムシ. 佳香蝶, 25(97): 99~101.  
——(1976)愛知県のコメツキムシ(北設山岳地帯を中心にして). 茶臼山高原道路建予定地域の自然環境調査報告書: 141~153. (浅岡孝知共著)  
——(1984)松野更一氏が採集した三河地方のコメツキムシについて. 鳳来寺山自然科学博物館館報, (14): 1~12.  
大塚 勲(1981)熊本県のコメツキムシに関する資料(3). 熊本昆虫同好会報, 26(2): 1~13.

## ゲンゴロウとクロゲンゴロウ豊田市に分布

大平仁夫・永井 貞

水生昆虫のうち, タガメは豊川水系などで毎年 若干個体が見出されており, 豊川市から新城市に

かけては生息が確認されている。しかし、ゲンゴロウはこの地方の記録から姿を消しており、今では絶滅したのではないかとされている。筆者らは機会のある毎に各地の池や河川を注意して観察を続けてきたが、今度豊田市の一部の地域に分布することが確認できたので報告する。

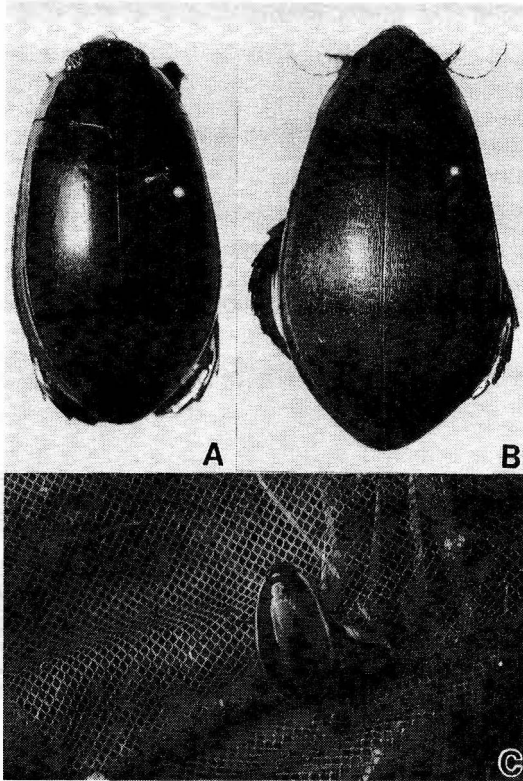


図1. A, ゲンゴロウの雄 (体長34mm) ; B, 同上雌 (体長37mm) ; C, ネットに入ったゲンゴロウの雄. (豊田市産)

三河地方でのゲンゴロウの採集記録は、佐藤(1990)によれば、松野(1979)に豊根村三沢の大幹線林道での燈火採集に飛来(21-VII-1979)した1雄個体の記録があるのみで、その後今日まで約20年間も記録されていない。筆者らは豊田市東部の山林の池で、1995年11月11日に雌雄個体(図参照)を得ることができた。

クロゲンゴロウは穂積・佐藤(1957)では「各地の水田で時々みられる」とされているが、佐藤(1990)では「戦前は各地に見られたが現在はほとんど発見されず」と記されている。本種の生息環境はゲンゴロウとよく似ており、ここでは混生

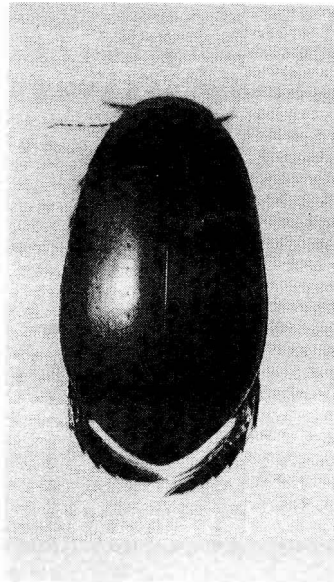


図2. クロゲンゴロウ(体長20mm). (豊田市産)

していた。しかし、本種は三河山間部の他の地域でも得られているので、環境に対しての適応性はより広いと思われる。本種も豊田市東部地域で1995年11月11日に採集した。今後はさらに詳しい調査をし、分布の実態について

明らかにしたいと考えている。乱獲などによる絶滅を防ぐため、詳しい地名は省略したのでご了承をお願いしたい。

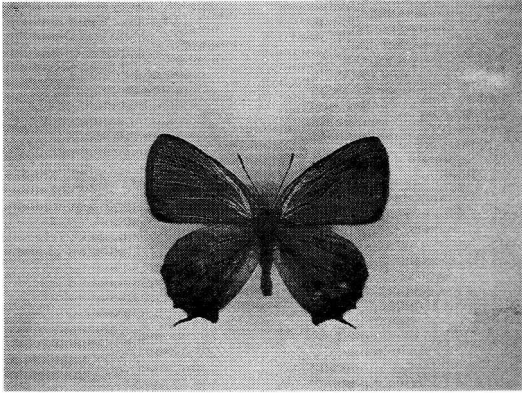
引用文献

穂積俊文・佐藤正孝(1957) 東海甲虫誌(3). 佳香蝶, 9(31): 1~10.  
 松野更一(1979) ゲンゴロウを豊根村で採集. 三河の昆虫, (24): 98.  
 佐藤正孝(1990) 愛知県の甲虫類(1). 愛知県の昆虫(上): 204~231(愛知県).

## 宝飯郡一宮町でミドリシジミを採集

小 鹿 亨

宝飯郡一宮町では、蝶類についてまとまった報告は少ない。筆者はミドリシジミ *Neozephyrus japonicus* Murrayの幼虫を採集して、飼育を行い成虫の標本を得ているので分布記録として報告する。



採集地：宝飯郡一宮町東上球場。

幼虫採集：29-IV-1995。

成虫羽化：6月上旬 3♂♂1♀筆者標本保管。

東上球場の西側のハンノキから中令幼虫を採集して飼育し、6月上旬に3♂♂1♀が羽化した。この♀個体は羽化不全だったが、無紋のいわゆるO型であった。

以前に東上球場周辺を案内してくれた今泉美香さんに感謝します。

## ウラクロシジミを岡崎市で採集

小 鹿 亨

岡崎市における蝶類の記録は杉坂(1984)など、目録としてはかなりまとまったものがあるものの、ウラクロシジミ *Iratsume orsedice orsedice* (Butler) は、筆者の知る限り岡崎市内からはこれまでに報告されていない。

市内保母町でマンサクから採集した幼虫を飼育して、複数の成虫の標本を得ているのでここに報告する。

幼虫採集地：岡崎市保母町。

幼虫採集日：23-IV-1995。

成虫羽化：V-1995 2♂♂2♀♀。

若齢幼虫を採集した場所は、有名なギフチョウのポイントがある保母町の火薬庫の近くである。4月16日、雑木林の林縁に枝を伸ばしたマンサクの芽から卵殻を発見、続いて同じ枝から卵殻の直

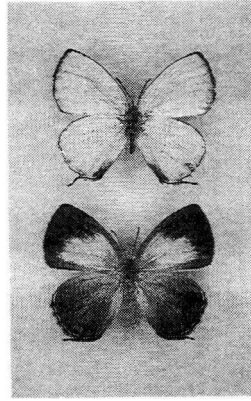
と思われる1令幼虫を見つけた。付近には他にもマンサクが少なからず見られたので、周辺の株の枝も探してみたが、越冬卵が見つかったのは2本だけで、あまり多いものではないように思われた。

当初「ウラクロぐらい」と考え、そのままにしていたん引き上げた。電話で金田吉高氏に話したら、「岡崎市では正式記録がない」という金田氏の助言で、4月23日に再び現地を訪れ、幼虫を採集してきた。

飼育では、餌として中令まで現地で採集してきたマンサクの芽生えを冷蔵庫に保管して逐次与えていたが、終令幼虫の頃には当初の餌が尽きたので、庭園などに植栽されているマンサクの園芸品種で代用した。飼育の結果、5月の下旬に2♂♂2♀♀の成虫が羽化した。

愛知県の昆虫(下)(1991)に見られるウラクロシジミの最も南の産地は額田郡額田町井沢で、筆者の採幼した岡崎氏保母町はこれよりもさらに南にある。もともと私信によれば、金田氏はさらに南の岡崎氏池金町で本種を得ているとのことである。

終わり本記録の発表を薦めてくださった金田氏に感謝します。



#### 文献

杉坂美典(1984)岡崎氏の蝶類, 新編岡崎市史。

高橋 昭(1991)愛知県のチョウ類, 愛知県の昆虫(下), 愛知県自然保護課。

## 分布拡大中の蝶類2種の記録

小 鹿 亨

ツマグロヒョウモンとクロコノマチョウノ2種は、近年愛知県内で記録が多く出されるようになり、分布拡大が伝えられているチョウ類である。両種について筆者が1995年に得た記録を報告しておきたい。なお2)①以外は筆者採集、標本は全て筆者保管。

### 1) ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

- ①豊川史御油町30-VIII 1♂目撃。
- ②安城市美園町依佐美住宅3-X 1♂。
- ③刈谷市板倉町13-XI 1♂。

### 2) クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

- ①渥美郡渥美町  
愛知教育大学伊良湖臨海教育実験実習施設

夏型1♀ 金森正臣先生採集 14-VII。

②岡崎市蔵次町 秋型1♀ 2-IV 越冬個体。

③幡豆郡幡豆町八幡川上流 秋型2♀♀ 3-V。

④安城市緑町二本木小学校 夏型1♂ 21-IX。

⑤岡崎市日影町 秋型2♀♀ 15-X。

⑥安城市里町不乗森神社 秋型1頭目撃 19-XI。

クロコノマチョウについて、貴重な標本を恵与された愛知教育大学生物教室教授の金森正臣先生、採集に協力していただいた二本木小学校の杉喜久代先生、神谷友和先生に感謝します。